



THE AKAMATSU

知識の森

vol. 33
通信

http://www.kyowa-u.ac.jp

編集:宇都宮共和大学入試・広報委員会 発行:宇都宮共和大学

UTSUNOMIYA KYOWA UNIV.

宇都宮共和大学

[宇都宮シティキャンパス]
〒320-0811 栃木県宇都宮市大通り1丁目3番18号
TEL.028-650-6611 FAX.028-650-6612[長坂キャンパス]
〒321-0346 栃木県宇都宮市下荒針町長坂3829
TEL.028-649-0511 FAX.028-649-0660[那須キャンパス]
〒329-3121 栃木県那須塩原市鹿野崎131
TEL.0287-67-3111 FAX.0287-67-3112

index

- P1 入学式
合宿交流研修会
学位授与式
- P2 シティライフ学シンポジウム
子育て支援研究センター公開講座
研究室だより
高柳研究室/鈴木研究室/内藤研究室
高丸教員が学会賞受賞
- P3 家庭科学研究委員会開催
未来を育む「全人教育」発刊
オープンキャンパス開催
那須塩原市民開放講座
入試・広報委員会からのお知らせ
スカラーシップのご案内
- P4 宇都宮共和大・宇都宮短大の大学祭
地元就職なら共和大!キャリア相談室より
教員免許状更新講習

入学式が行われました 4/4 (水)



4月4日(水)、宇都宮共和大学と宇都宮短期大学の合同入学式が、長坂キャンパス須賀友正記念ホールで行われました。ご来賓の臨席のもと、新入生は新しいスーツに身を包み、緊張した面持ちでした。須賀学長からの式辞に対して、新入生代表は心強く頼もしい「誓いのことば」を述べました。

式の後、学生の企画による新入生歓迎会が多目的アリーナで行われました。先輩たちの歌や楽器演奏、サークルのパフォーマンス等があり、軽食をいただきながら仲間づくりの第一歩を進めていたようです。



合宿交流研修会を実施 4/24 (火)・25 (水)



4月24日(火)・25日(水)に鬼怒川ホテル三日月において、宇都宮共和大学と宇都宮短期大学の1・2年生が全員参加して「合宿交流研修」が行われました。今年は、「自分を活かしつつ、集団生活を楽しむ」という全体テーマを掲げ、全体会、学部・学科ごとの分科会、そして栃木県が誇る世界遺産「日光東照宮」の見学というプログラムが展開されました。

シティライフ学部は「充実した学生生活を送るために」のテーマを設定して、シティライフ学グループディスカッションを行いました。1・2年生混合のグループでしたが、グループ・リーダーの下、活発な討議が展開されました。

子ども生活学部では、「遊びで仲間とつながろう」をテーマに、2年生が壁面装飾作り・ゲーム・マジックの3つの遊びを企画し、1年生はどれにも参加し楽しく笑顔で交流ができました。



学位授与式挙行・卒業祝賀会開催 3/17 (土)

3月17日(土)、宇都宮共和大学と宇都宮短期大学の合同の学位授与式が、長坂キャンパス須賀友正記念ホールで厳粛に行われました。

その後、宇都宮東武ホテルグランデに移動し、在学生・卒業生が主催する卒業祝賀会が盛大に行われました。卒業生は在学中のキャンパスライフのVTRを鑑賞したり、ダンスや音楽演奏もあり、その時どきの思い出を語り合うなどして、先生方や保護者、学友と社会への門出のひとときを楽しみました。



宇都宮共和大・宇都宮短大の大学祭

今年も2つのキャンパスで、大学祭が開催されます。

〈シティライフ学部〉
宇都宮シティキャンパス名物の共和
巻饼もあるよ!日時 11/3^土・4^日 10:00~

場所 宇都宮シティキャンパス

▶ シティライフ学講演会
▶ コールツェルビーによる合唱
▶ ビンゴ大会
▶ 留学生スピーチコンテスト

4^日 ▶ 倉澤大樹エレクトーンコンサート
▶ 学生LMCによるバンド演奏

3^土 ▶ ゼミ・サークル展示
▶ 模擬店
▶ 喫茶店

〈子ども生活学部〉
長坂キャンパス

サンマ焼きたて!

日時 11/17^土・18^日 10:00~

場所 長坂キャンパス

17^土 ▶ 子どもと楽しむ音楽会
▶ サンマ祭り(気仙沼より1,000尾直送!)

18^日 ▶ 室内楽名曲ジョイントコンサート

17^土 ▶ 模擬店
▶ 農産物販売
▶ 福祉車両展示
▶ 喫茶店



地元就職なら共和大 キャリア相談室より

シティライフ学部の23年度卒業生(10期生)の主な就職先は日本郵便、神鋼真岡総合サービス(神戸製鋼関連)、西尾レントオール、田淵電子工業、パナホーム北関東、社会福祉法人こぶしの会等幅広い業界に及んでいます。また、県内公立中学校にも2名が奉職することになりました。

来年度の求人にも不況継続の中、厳しいものが予想され、企業は「厳選採用」を基本にして、「質」を重視した採用が継続するものと思われます。就職戦線は短期決戦になりますので、早期に積極的な就職活動に入ることが大切で、3年生の皆さんにとって、いよいよ就活本番です。自分を信じ目標に向かってねばり強く頑張ってくれることを期待しています。

教職員やキャリア相談室は、これからも全力をあげて就職や大学院進学を支援します。

キャリア相談室長 滝田 栄一



教員免許状更新講習を開講

8月6日(月)~8日(水)に、主に中学校・高校の先生方を対象に教員免許状更新講習が本学で開講されました。

鈴木健一教授による「現代の教育課題と社会科教育の役割」と、遠藤忠教授による「生徒指導-日本型指導のよさを大切にして」の2講座が開講されました。県内および近県から、3日間で約100名の先生方が受講されました。ディスカッションや体験実習等も実施され、受講された先生方は大変熱心に講義に参加されていました。



シティライフ学シンポジウム開催

7月11日(水)に宇都宮シティキャンパスで「シティライフ学シンポジウム」が開催されました。今回は「新たな地域の成長戦略」をテーマに、人口減少の中にあっても成長し続けることのできる都市像や街の活性化の方策等とありました。社会経済や市民のニーズの変化を捉えて成長し、発展し続ける宇都宮都市圏を目指して、今、産官民学は何をなすべきかを探索しました。公共交通・都市構造の分野をご専門として全国的にご活躍中の森本章倫氏をメインゲストにお迎えして、各界の有識者・行政の方々とこれからの宇都宮都市圏のあり方について活発なディスカッションが繰り広げられました。当日は、170名の皆様にお越し頂き大盛況のうちに終了しました。



森本 章倫 氏



〈基調講演〉
「未来に向けた宇都宮の都市づくり」
 宇都宮大学大学院工学研究科 教授 森本 章倫 氏
 〈パネリストディスカッション〉
「新たな地域の成長戦略―宇都宮都市圏の発展に向けて」
 (パネリスト)
 宇都宮大学大学院 教授 森本 章倫 氏
 栃木県土整備部 部長 熊倉 雄一 氏
 宇都宮市 副市長 高井 徹 氏
 宇都宮まちづくり推進機構 理事長(学長) 須賀 英之 氏
 (コーディネーター) 都市経済研究センター長・本学教授 古池 弘隆

研究室だより 高柳研究室



高柳 恭子 准教授
 (前宇都宮大学附属幼稚園副園長)

子どものもつ潜在的な可能性は、子どもと共に生活する中で出会う「環境」によって開かれ、環境との「相互作用」を通して具現化されていきます。子どもほど好奇心にあふれ、探究心旺盛で柔軟な思考をもつ存在はいないでしょう。「失敗が新発見」につながり、「けんかが仲良しの始まり」になります。子どものバイタリティーから大人が学ぶこともたくさんあります。「子ども」と「子どもの生活や遊び」が研究対象です。また、子どもは「その子なりの」育つ道筋があります。リンゴが赤くなる色づき方が1個1個異なるように、乳幼児期だからこそ、保育の方法は多様です。一人ひとりの発達特性を理解し、その特性に応じたかわり方をしていくことが大切です。実際の保育現場に足を運び、目の前で繰り広げられる具体的な姿から、子どもの特性を捉え、子どもの行動の意味等について理解を深め、それに応じた援助法について実践を通して学んでいきたいと思います。子どもの発達に必要な経験やそのための保育環境の作り手、仕掛け人として、子どもの興味・関心に応じた教材や遊具の工夫や開発が求められます。子どもの心を理解し、好奇心を駆り立て、想像の世界を広げ、探究心や達成感が味わえるように、子どもを取り巻く生活環境を豊かにコーディネートできる専門性の高い保育者の育成を目指したいと思います。そのためには、学生のもつ潜在能力をフルに引き出すことが重要です。まだ自分でも気づいていない力を持っているはずです。学生自身の「私の特性」の発見、探求、磨きあいができるような研究室でありたいと願っています。

研究室だより 鈴木研究室



鈴木 健一 教授
 (元栃木県高等学校校長会会長)

【育成する教員像】
 1 幼児・生徒・保護者・地域社会から信頼される教員
 2 教育現場の課題にチャレンジする意欲を有する教員
 3 専門性と教養を身に付けた視野の広い教員
 また、シティライフ学部では、専門科目の学修を踏まえ、地域に生きる一人の市民(シティズン)・国民として、さらには世界に視野を広げる国際人・地球人として期待される「シティズンシップ(市民性)教育」についても調査研究し、こうした面での能力を備えた人材の育成を合わせて進めています。教科「社会科」を学ぶことは、「社会」の現在・過去を学びながら「未来」を拓く鍵を探ることに外なりません。教職課程に学ぶ学生諸君には、教職をはじめ人材開発・育成、保育等に係る専門性を身に付け、豊かで望ましい「未来社会づくり」に積極的に貢献する人材に育ってほしいと願っています。

子育て支援研究センターの公開講座を開催中

子ども生活学部子育て支援研究センターでは、昨年度に引き続き、子どもの教育・保育にかかわる仕事をされている方や一般市民を対象に、公開講座を5回シリーズで開催しています。第1回は6月23日(土)。宇都宮市のひばりクリニック院長、NPO法人うりすん理事長の高橋昭彦先生に、「医療的ケアが必要な子どものレスパイトケア」と題して、障がいをもつ子どもと親のためのケア活動について、先駆的な支援の現場からのお話をいただきました。参加者は、宇都宮市で全国に誇れる活動が展開されていることに深く感動していました。第2回は7月7日(土)。お茶の水女子大学名誉教授(発達心理学)の内田伸子先生に、「子どもを伸ばすことばかけ」という演題で、幼児の発達について、これまで積み重ねてこられたご研究をもとにお話をいただきました。参加された方々からは、子どもへのことばかけについて保育の現場に大きなヒントをいただいた、自分の子育てを見直すきっかけになったなど、反響が大きく、充実した学びの場になりました。第一部の研修会では、本学教員によるリトミックと音楽療法の実技講習などがあり、こちらも毎回多くの参加者から好評を得ています。



第3回 9/29(土) 第4回 10/20(土) 第5回 12/1(土)

研究室だより 内藤研究室



内藤 英二 教授

経営学とマーケティングの知見を使って、街や地域に関わる様々な課題の解決に取り組むことを目的として、ゼミの活動を行っています。具体的には、私たちが暮らしている街や、日ごろ、買い物に利用したり、通学や通勤の際に通っている商店街などを、どうしたらもっと楽しく、便利で、にぎやかにすることができか、ということについてゼミの学生と考えていきます。課題や改善すべき点を明らかにするために、教室を出て、実際に現地の調査や観察という活動することもあります。こうした調査や観察の結果を話し合い、考えをまとめ、導き出されたアイデアなどを発表したり、提案したりもします。今年のゼミの活動テーマは、「新しいイベントを通じて中心市街地の活性化を図ろう」というものです。その一環として、現在、宇都宮市内で実施されている各種のイベントや伝統行事について、若い人がどの程度の知識や感想をもっているかについて、市民にアンケート調査を実施しています。ゼミのテーマにも関連するマーケティング論の授業では、新製品の開発について学生から自由にアイデアを集めています。1つのアイデアについて、他のメンバーが別の視点から改良を加えることで、現在、10種類ほどの新製品のアイデアがまとまりつつあります。今年の新製品開発のテーマは「USBケーブルでコンピュータに接続可能な周辺機器」で、扇風機のような送風装置を内蔵した「クールマウス」、特定のユーザーの音声に反応して動き、ユーザー以外の人が使おうとすると「逃げるマウス」、葉っぱや花が太陽電池でできていて、発電した電気をUSBケーブルでパソコンに供給する「エコな鉢植」等の楽しい新製品のアイデアが次々と生まれています。新製品の商品名も学生のアイデアです。以上の事例からも分かるように、授業ばかりでなく、実際の調査や観察を通じて得た情報や知識を応用して、様々なアイデアを考え、実践していくための方向性を探っていくのが内藤ゼミの活動方針です。1持てる力を誰かのために1ゼミの活動方針を理解してもらいたいという願いを込めて、学生諸君に常に投げかけている言葉です。

高丸教員が学会賞受賞

シティライフ学部の高丸圭一専任講師が社団法人人工知能学会2011年度論文賞を受賞し、6月14日に開催された同学会総会で、記念の楯が授与されました。

受賞した論文のタイトルは、「地方議員マッチングシステムにおける能動的質問のための質問生成手法」で、国の科学研究費の支援を受けて実施した宇都宮共和大学と小樽商科大学、横浜国立大学、福岡大学、国立情報学研究所の共同研究をまとめたものです。

「住民(有権者)は立場の近い議員を探したくても容易ではない」という現実社会の課題を解決するために、人工知能の技術を応用して構築した「地方議員マッチングシステム」の研究開発における顕著な学術成果とその社会的価値が高く評価されました。

【高丸先生より】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

私の研究テーマを大まかにいうと、人間の使うことば(文字や音声)をコンピュータで分析することです。今回受賞した論文は、コンピュータから投げかけられる幾つかの簡単な質問に住民がYES/NOで答えることで、自分の関心にあった地方議会議員の情報を提示する「地方議員マッチングシステム」の研究です。一見すると地方政治や選挙に関係した研究のように感じられますが、このシステムは議会での議員の発言がすべて記録された「議会会議録(議事録)」の文字データを、コンピュータで分析することによって動作しています。それぞれの議員が何に焦点を当てて活動しているのかを、議会での発言からコンピュータが自動推定します。また、マッチングの際にコンピュータが投げかける質問は会議録中の文を利用して自動生成します。

研究の成果がこのような形で評価されて大変うれしく思っています。今後も、コンピュータによることばの分析を通して、社会に役立つ教育研究を進めていきたいと考えています。



シティライフ学部
 高丸 圭一 専任講師

家庭科学研究委員会開催

7月27日(金)、長坂キャンパスにて栃木県高等学校教育研究会家庭部会の家庭科学研究委員会が開催され、県内の家庭科関係の先生方約40名にお越しいただきました。子ども生活学部の牧野カツコ学部長(お茶の水女子大学名誉教授、元 日本家庭科教育学会会長)からご挨拶をかねて学習指導要領改訂の解説、百田裕子教授(宇都宮短大人間福祉学科)から「高齢者の衣生活と被服教育」の講義、桂木奈己講師から「生活クラフト」の実習が行われました。午後は、昼食と須賀友正記念ホールでの音楽科学生ミニコンサートをはさんで、羽石道代先生の「ピアノ演奏講座」や、山本久美子准教授(宇都宮短大音楽科)の「音楽療法ワークショップ」を体験していただきました。本学の学生も高校の恩師と久しぶりにお目にかかることができ、楽しく有意義な研修会となりました。ご来賓としてご臨席いただいた山形昭夫先生(県家庭部会長・宇都宮中央女子高校長)やお世話いただいた事務局の諸先生に厚く御礼申し上げます。



未来を育む「全人教育」発刊

下野新聞の土曜日付総合社会面に連載された、須賀淳理事長先生の「私の生きた刻(とき)」が、このたび同新聞社より単行本として発刊されました。須賀学園の創立者須賀栄子先生との寄宿舎での生活や、空襲で全焼した学校の再建に東大の学生と二足のワラジで奔走したエピソード、文部科学省で戦後の教育改革に携わった経過など、興味深い内容がわかりやすく記述されています。図書館の書架にもありますので、是非学生の皆さんには手に取って、「全人教育」の建学の精神に触れてみてください。



▲戦災前の須賀学園校舎前景(1944年宇都宮市松が峰) 卒業生が須賀栄子先生の功績をたたえ建立した銅像(1935年)



那須塩原市民開放講座

11月 10日(土)	「心地よい人間関係づくり」	河 田 隆 教授
11月 17日(土)	「楽しく学ぶ! 今日から出来る介護予防」	古 川 和 稔 准教授
12月 1日(土)	「高齢者世帯の現状と老後の生活設計」	中 川 英 子 学科長・教授
12月 9日(日)	「自然の見方、捉え方」	大久保 忠旦 副学長・教授

会 場：宇都宮共和大学 那須キャンパス 《お申し込み・お問い合わせ》
 参加費：無料 那須塩原市役所 生涯学習課
 時 間：9:30～11:30[11/10(土)・17(土)・12/1(土)] TEL 0287-37-5364
 11:00～15:00[12/9(日)]

入試・広報委員会からのお知らせ

平成25年度シティライフ学部・子ども生活学部 入学試験概要			
入 試 区 分	出 願 期 間	試 験 日	
AO入試	平成24年 8 月 8日(水) ～ 平成25年 3月16日(土)	随 時	
公募推薦入試	11月 1日(木) ～ 11月 8日(木)	11月10日(土)	
特待生入試Ⅰ期	11月22日(木) ～ 11月29日(木)	12月 1日(土)	
チャレンジ入試	11月22日(木) ～ 11月29日(木)	12月 1日(土)	
一般入試Ⅰ期	平成25年 1 月 9日(水) ～ 平成25年 1月30日(水)	2月 2日(土)	
センター試験利用入試Ⅰ期	1 月 7日(月) ～ 1月25日(金)	書類のみ	
特待生入試Ⅱ期	2 月 1日(金) ～ 2月13日(水)	2月16日(土)	
社会人入試	2 月 1日(金) ～ 2月13日(水)	3月16日(土)	
一般入試Ⅱ期	2 月25日(月) ～ 3 月 6日(水)	3月 9日(土)	
センター試験利用入試Ⅱ期	3 月 1日(金) ～ 3月15日(金)	書類のみ	

※詳細は本学HPをご覧ください。

オープンキャンパス開催

宇都宮シティキャンパス シティライフ学部

7月22日(日)に宇都宮シティキャンパスで今年度2回目のオープンキャンパスが実施されました。今回は、シティライフ学についてのミニ講話を山島哲夫教授(シティライフ学部長)から、笹川講師からミニ講義(テーマ:身近な社会保障)が開講されました。また、ゼミ室に都市パズルを設置して来学した高校生に、自分なりの都市シミュレーションをイメージしてもらったり、ニューヨークの都市発展の様子をVTRで視聴したりして、シティライフ学の一部を垣間見ていただきました。



長坂キャンパス

第3回オープンキャンパスが8月18日(土)に長坂キャンパスで開催されました。本学学生によるウェルカムダンスとミニコンサート、その後、入試説明会、模擬授業が行われ、参加者は先生方の楽しい話術と理解しやすい内容に聞き入っていました。お昼には、参加者の皆さんは在学生と一緒にスイーツを食べながら学生生活について質問したり、キャンパス内を回ったり、先生方に入試や将来のことについて相談していました。



スカラーシップのご案内

《一所懸命努力する人を応援する、きめ細やかな支援体制》
 ■入学試験時の成績優秀者を特待生とし、**4年間の授業料を全額免除**、もしくは**半額免除**する「特待生入学試験」があります。
 ■在学生に対して、前年度の成績に応じて奨学金を支給する「**須賀スカラーシップ制度**」を設けて、意欲ある学生のキャンパスライフを応援しています。

特待生入試 (㊟…シティライフ学部、㊤…子ども生活学部)

受験生のうち一定基準以上の入学試験成績優秀者を次のような「特待生」とします。

・**授業料全額免除の特待生**になれば、4年間の学納金は ㊟120万円、㊤196万円で卒業できます。
 ・**授業料半額免除の特待生**になれば、4年間の学納金は ㊟250万円、㊤326万円になります。

在学生奨学金

ダイヤモンド奨学金―授業料減免

情報・語学・専門の各授業科目を総合して成績優秀な学生に対し、**次年度の授業料を「全額」もしくは「半額」免除**します。入試特待生以外の、すべての学生にチャンスがあります。

知識力奨学金―資格試験受験を全面支援
 学生には、標準的な専門知識、すなわち各種の資格検定試験に合格して、資格を取得することが求められています。英検、情報処理、簿記、ファイナンシャル・プランニング技能士、販売士、宅地建物取引主任者など、各種**資格試験の受験料を奨学金**として贈ります。すべての学生が対象となります。

特待生入試

シティライフ学部・子ども生活学部

授業料……………**全額免除**

■特待生入試Ⅰ期……………各5名
 ■チャレンジ入試……………各4名
 ■センター試験利用入試Ⅰ期…各2名

授業料……………**半額免除**

■特待生入試Ⅰ～Ⅱ期……………各8名
 ■チャレンジ入試……………各4名
 ■一般入試Ⅰ～Ⅱ期……………各5名
 ■センター試験利用入試Ⅰ～Ⅱ期…各4名



▲ダイヤモンド奨学金受賞者